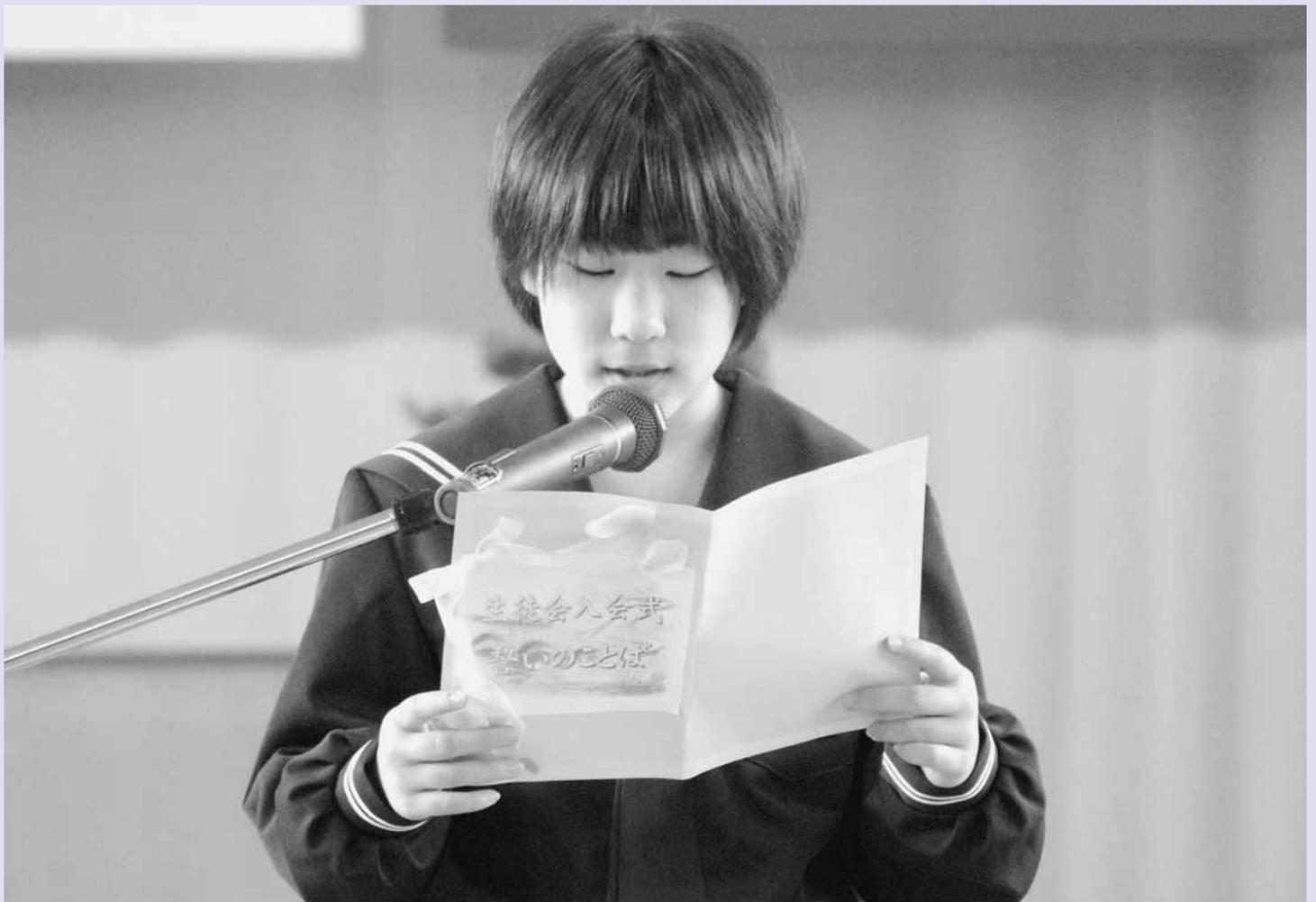


# 議会だより



生徒会入会式 誓いのことば 厚真中学校

浄水場建設費など、平成27年度予算などを決定（3月定例議会）	2
新しい監査委員を選任	3
定住自立圏形成に関する協定を苫小牧市と締結	4
農協関連法案とTPPに係る意見書を採択	5
プレミアム商品券発行など地方創生予算を決定	6～7
上厚真認定こども園・児童会館建設関連事業など平成27年度予算審査	10
子ども・子育て支援事業計画などを調査（総務文教常任委員会）	18
事業費が18億4千万円増に！統合簡易水道事業を調査（産業建設常任委員会）	20
「町政のここが聞きたい」5氏が町政を問う（一般質問）	26
元気なあつまの子（空手同好会「最強塾」）・地域の話（スナック SAKURA）	28

# 第1回定例会

3月4日から12日まで9日間の日程で開催され、報告2件、同意1件、議案34件、承認1件、意見書案2件を慎重に審議しました。会期中に予算審査特別委員会、全員協議会も開催しました。

# 易水道事業) など 20万円を賛成全員で可決!

## 浄水場などを建設 (統合簡易水道事業) 10億2191万円 (特別会計)

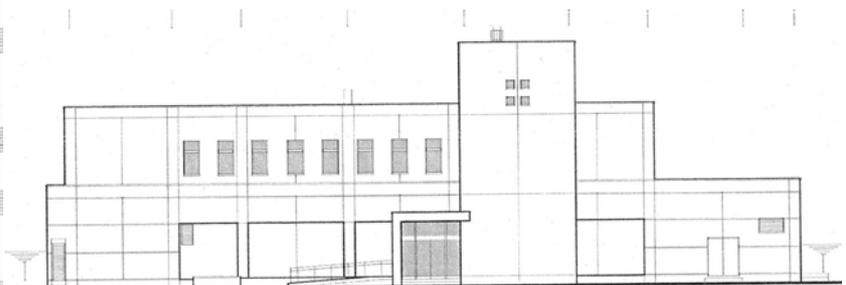
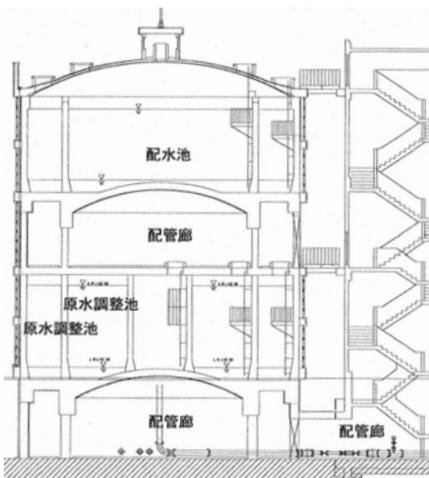
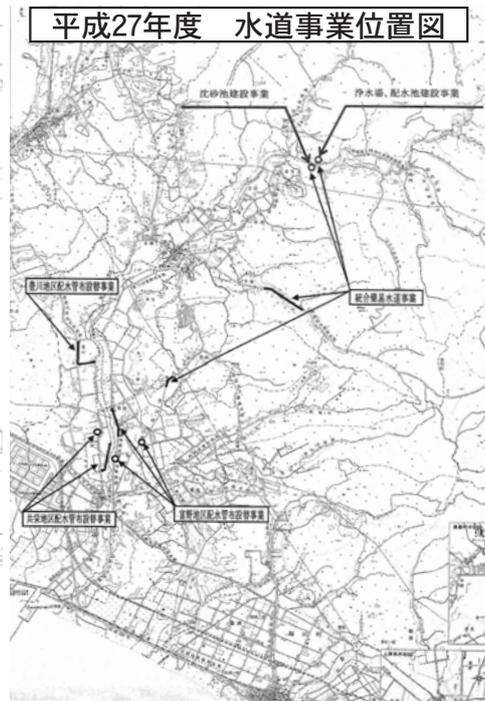
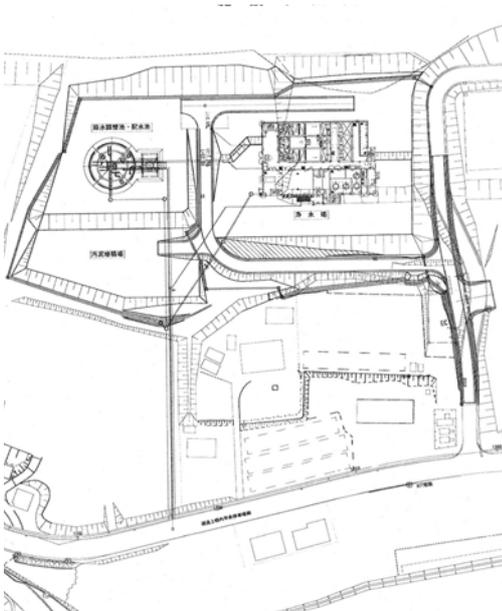
統合簡易水道事業は、厚真地区と上厚真地区簡易水道事業を統合し、水源を厚幌ダムに求めて水道未普及地域の解消を図り、将来の水需要の増加に対応するため水道施設の整備をします。

主な経費  
工事費 8億9294万円

### 建設課上下水道グループ

委託料	5594万円
ダム負担金	7255万円
その他経費	48万円
<b>財源</b>	
道	2億3940万円
地方債	7億7770万円
町	481万円

(関連記事P 20に掲載)



# 浄水場建設費（統合簡

## 平成27年度各会計予算総額87億 62

### 町監査委員を選任



佐藤公博さんを町監査委員に選任することに、全員賛成で同意しました。

### 地方創生に向けた取り組み（平成26年度補正予算）

国は昨年11月、我が国が世界に先駆けて人口減少と超高齢化社会を迎えていることを踏まえ、国と地方が総力を挙げてこれを打開し将来にわたって活力ある日本社会を維持していくため、地方創生の理念を定めた「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、人口減少に関する

中長期的展望を示した「長期ビジョン」と、段階的に課題解決していくため、向こう5年間の「総合戦略」を策定した。本町では国及び道が示す方向性を勘案し、本年度第4次町総合計画の策定と併せて、厚真町版の長期ビジョンと地方創生総合戦略を策定し、「若者が安心して住み、結婚し、子どもを産み育てることのできるまちづくり」を中心テーマに今後5年間で重点的に地方創生に向けた取り組みを行う。平成27年度については、平成26年度に補正予算とし、次年度へ繰り越した地域消費喚起や地方創生に先行して取り組む（事業の具体的内容はP4、5に掲載）

### 水資源保全のため土地を取得



上厚真浄水場隣接地を109・456㎡購入します。  
賛成全員

### 町一般職員給与を減額

町職員の給与改正を審議し、賛成多数で決定しました。

#### （主な質疑）

問 行政手続法改正などの様に、自治体業務が益々重要になっていく中で、職員給与の引き下げという提案がされるが、どのように考えているか。  
町長 国の人事院勧告は甘んじて受けなければならぬが、地方と都市間の経済格差が生じているので、国に地方公務員給与の一定の保証を求めていかなければならないと考えている。

#### 採決 賛成多数

反対 今村昭一

### 定住自立圏の形成 に関する協定を 苫小牧市と締結へ

苫小牧市と厚真町が定住自立圏の形成に関し協定を締結しようとするもので、その内容は次の通りです。

(医療)  
・医療情報ネットワーク

化  
・広域救急医療体制の充実及び病診連携  
(福祉)

・高齢者等の見守りSOSネットワーク

(教育)

・生涯学習機会の充実

・図書館相互利用の促進

(産業振興)

・地域ブランドの推進

・鳥獣害防止事業の推進

(防災)

・防災体制の充実

(環境)

・循環型社会の構築

(地域公共交通)

・地域公共交通の維持確保と利用促進

(交通ネットワークの整

備促進)

・圏域内における交通ネットワークの形成

(生産者と消費者との連携による地産地消)

・地産地消の拡大

(移住定住)

・移住定住促進

(その他の結びつきやネットワークの強化に係る

連携)

・広域連携による情報提供

(宣言中心市等における人材育成)

・職員の合同研修等の実施

採決

賛成全員

### 循環福祉バス (めぐるくん) 利用対象者を拡大

利用対象者の年齢制限等をなくすために、条例の全部を改正しました。

(主な質疑)

問 利用者証なしで利用できるようにできないか

まちづくり推進課長

今の段階では登録が必要

であるが、今後バス事業者と協議を重ねる。

者との協議を重ねる。

採決

賛成全員



### 町行政を町民 目線で評価

「厚真町行政評価外部評価委員会」を設置し、町の事務事業の外部評価を行い、行政評価の客観性及び透明性を確保するとともに、効率的かつ効果的な町政運営を推進します。

採決

賛成全員

### 行政指導の方式 などを改正

行政手続条例が一部改正されました。

1、行政指導の方式における提示事項の追加

2、行政指導の中止等の求め

3、行政指導又は行政処分(処分等)の求め

(主な質疑)

問 申し出事案を処理した後の報告を求められた時の対応は。

総務課長 今の段階では決まっていないので、内部で検討して決めたいと思う。

採決

賛成全員

### ふるさと応援 寄附金条例を制定

ふるさとを応援する方々から寄せられたふるさと納税による寄附金を原資とする、基金の設置を決定しました。

採決

賛成全員

### 除雪費の専決処分

除雪事業費が不足したため、予算を増額補正したことを承認しました。

補正額 1,000万円

財源 町 全額

## 二輪車等の増税、 1年延期などを審議 第2回臨時会

3月30日第2回臨時会  
が開催され、議案2件が  
審議され、2件とも賛成  
全員で決定しました。

新車登録した軽自動車の  
税額軽減を決定しました。

## 二輪車等の増税 改正、1年延期 を決定

平成27年4月1日から  
増額改正される予定であ  
った二輪車等の増改正を  
平成28年4月1日からは  
適用開始時期を1年延期  
する事にしました。

## ふるさと納税 9200万円へ

一般会計補正予算は、  
ふるさと納税の見込み額  
増額、ふるさと応援基金  
の制定に伴う財源更生、  
職員超勤手当の増額など  
を審議しました。  
ふるさと納税の見込み  
額は、3月定例会で88  
00万円へ増額補正しま  
したが、今回、更に40  
0万円増の9200万円  
へ増額しました。

## 軽自動車グリー ン化特例(軽課) の導入を決定

平成27年4月1日から  
平成28年3月31日までに

# 国へ物申す

## 3月定例会で採択された意見書（2件）

### 農協関係法制度の見直しに関する意見書

- 1 食料の安定供給、地域の振興について農協法の目的に明確に位置付けし、事業目的の見直しにあたっては、協同組合の基本的性格を維持すること。
- 2 准組合員は農業や地域経済の発展をともに支えるパートナーであり、人口減少への対応や雇用の創出など「地方創生」のためにも、准組合員の利用制限は行わないこと。
- 3 J A・連合会の協同組合としての事業・組織を制約する一方的な事業方式、業務執行体制、法人形態の転換等は強制しないこと。

提出者 木戸嘉則  
賛成者 吉岡茂樹、大捕孝吉、下司義之、木本清登  
採決 全員賛成  
提出先 内閣総理大臣、農林水産大臣

### TPP交渉等国际貿易交渉に係る意見書

- 1 政府は平成25年4月の衆参両院農林水産委員会における決議「環太平洋パートナーシップ（TPP）協定交渉参加に関する件について」を遵守するとともに、決議が遵守できない場合は、TPPから脱退すること。
- 2 E P A・F T A等のすべての国際貿易交渉において、重要品目等の関税等、必要な国境措置を維持すること。

提出者 木戸嘉則  
賛成者 吉岡茂樹、大捕孝吉、下司義之、木本清登  
採決 全員賛成  
提出先 内閣総理大臣、内閣官房長官、内閣府TPP担当大臣、農林水産大臣、外務大臣、経済産業大臣

## 暮らしの安心サポート事業 340万円

産業経済課商工観光林業水産グループ

町内の買い物弱者を対象として、移動販売を行う方に対し、経費の一部を補助します。買い物弱者の購買機会の確保や、見守り活動を通じた安心・安全な生活の維持向上を図ります。

### 主な経費

暮らしの安心サポート事業補助金	290万円
その他経費(消耗品や車両維持費)	50万円

### 財源

国	175万円
地域振興基金	100万円
町	64万円

## サテライトオフィス誘致事業 342万円

まちづくり推進課事業推進グループ

本町の地理的好条件、優れた自然環境、「あつまネット」によるインターネット網を活かし、クリエイティブ関連企業用のサテライトオフィスを誘致します。

### 主な経費

サテライトオフィス立地計画作成料	100万円
企業立地意向調査	192万円
その他(旅費等)	50万円

### 財源

国	176万円
町	165万円

## 子育て支援保育料還元事業 500万円

町民福祉課子育て支援グループ

子育て世代の経済的負担軽減のため、現在行っている保育園入園児の保護者負担の保育料還元を1割から2割に拡充し、子育て家庭の支援を行います。

### 主な経費

印刷料	11万円
子育て支援保育料還元金	488万円

### 財源

国	258万円
エンゼル基金	200万円
町	42万円

## 特別就農給付金事業 450万円

産業経済課農政グループ

農業の担い手育成・確保のため、現在原則18歳以上45歳未満とされている新規参入者の支援を、45歳以上の方にも対象を広げ、経営が軌道に乗るまでの間の給付金を支給します。

### 主な経費

給付金(150万円×3人分)	450万円
----------------	-------

### 財源

国	232万円
町	217万円

## 地域消費喚起商品券事業 2,050万円

産業経済課商工観光林業水産グループ

町内の消費拡大により地域活性化を図る目的で、プレミアム商品券を発行します。

1口1万円で、プレミアム率は20%、購入限度は1人2口までとなり、利用期間は、7月1日から12月31日までを予定しています。

事業主体は、厚真町地域活性化商品券実行委員会です。

### 主な経費

地域消費喚起商品券事業補助金	1,972万円
その他経費(消耗品・通信費)	77万円

### 財源

国	979万円
道	470万円
地域振興基金	600万円

## タウンプロモーション事業 360万円

まちづくり推進課企画調整グループ

複数のメディアとイベントを組み合わせた一体的なタウンプロモーションを行います。

道内放送局による本町の紹介番組の作成や、ラジオでの本町の紹介、札幌市内のホテルで本町産の食をテーマとするイベント等を開催します。

### 主な経費

タウンプロモーション広告作成委託料	356万円
その他(消耗品等)	3万円

### 財源

国	185万円
町	174万円

### 主な質疑

問 時期に合わせたプロモーションをできないか。  
まちづくり推進課長 30分間のテレビ番組制作を計画していて、この番組を中心にラジオで町の紹介ということになるので、ある程度絞られた番組になる。

### 地域特産品開発推進事業

800 万円

産業経済課農政グループ

町内における6次産業化を推進し、農産物の付加価値を高め、厚真町ブランドの確立を図ります。

**主な経費**

特産品開発	394万円
特産品開発機構立ち上げ	33万円
あつまポータルサイトの運営	33万円
情報発信・営業活動費	311万円

**財 源**

国	414万円
地域振興基金	300万円
町	85万円

(主な質疑)

**問** 札幌のオータムフェスタは毎年出店しているか。また、地下歩行空間での展開は。

**まちづくり推進課参事** オータムフェスタ、地下歩行空間、札幌ドームでは今年度(平成26年度)もイベントを開催している。

### ハスカップ地域ブランド化総合推進事業

300 万円

産業経済課商工観光林業水産グループ

町が栽培面積日本一を誇るハスカップをトップブランドに成長させるため、官民連携の協議会を設置します。販路拡大の支援や、担い手の育成、PR・イベント事業等を実施します。

**主な経費**

イベント開催委託料	37万円
新技術導入・ブランド化構築補助金	60万円
雑誌掲載広告料等	82万円
その他経費(旅費・消耗品・報償費)	119万円

**財 源**

国	165万円
地域振興基金	100万円
町	34万円

(主な質疑)

**問** ハスカップの生産拡大に向けて苗木の補助を行っているが、生産量上げるために人件費の補助などをしては。

**産業経済課長** ハスカップ雇用が大きな問題となっている。政策としていろいろ考えていかなければならないと考えている。

### 地域公共交通空白解消タクシー運行事業

300 万円

まちづくり推進課企画調整グループ

実証試験中の土・日・祝祭日のタクシー運行を本格実施するため、タクシー事業者へ補助金を交付します。

**主な経費**

タクシー実証運行事業費補助金	300万円
----------------	-------

**財 源**

国	154万円
地域振興基金	100万円
町	45万円

(主な質疑)

**問** 実証試験の結果は。

**まちづくり推進課長** 1日の平均利用件数は2.72件。利用額は1、2月が4,338円と、過去と比べ11%ほど増えている。

### 起業化支援事業

400 万円

産業経済課商工観光林業水産グループ

町内の起業に向けた取り組みを支援するため、起業時における開業経費等の必要な経費の一部を補助します。(関連記事P21に掲載)

**主な経費**

起業化支援事業補助金	400万円
------------	-------

**財 源**

国	206万円
町	193万円

(主な質疑)

**問** 上厚真のきらりタウンに自動車整備工場ができたが、分譲地にそういった業種が立地することは問題ないのか。

**まちづくり推進課参事** 制度上、法律上問題はない。

### 総合戦略策定事業

390 万円

まちづくり推進課企画調整グループ

まち・ひと・しごと創生法に基づき、厚真町総合戦略を策定します。

**主な経費**

報酬	40万円
報償費(公務協力者)	13万円
旅費	26万円
その他(消耗品等)	59万円
土地利用構想図作成委託料	250万円

**財 源**

国	全額
---	----

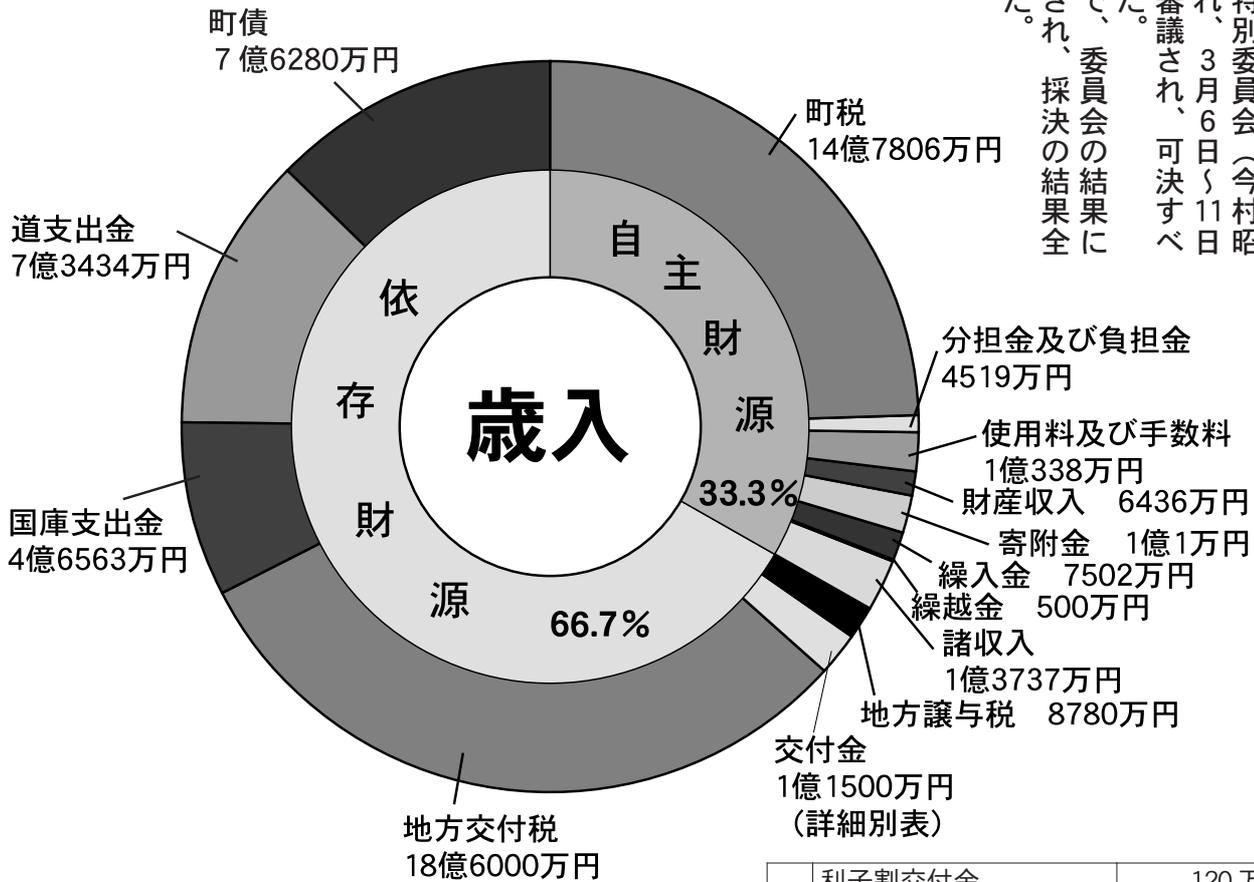
(主な質疑)

**問** 今まで厚真町を創り上げてきた方々に対する光が見えてきていないと思うが。

**町長** 総合計画を策定するに当たり、高齢者の方々が安心して住み続けられる福祉のまちづくりの主眼は、これからも大切にしていきたい。

# 予算を分析

平成27年度各会計予算は、3月5日に設置された予算審査特別委員会（今村昭一委員長）に付託され、3月6日（11日までの4日間慎重に審議され、可決すべきものと決定しました。  
3月9日に本会議で、委員会の結果について委員長報告がされ、採決の結果全員賛成で可決しました。



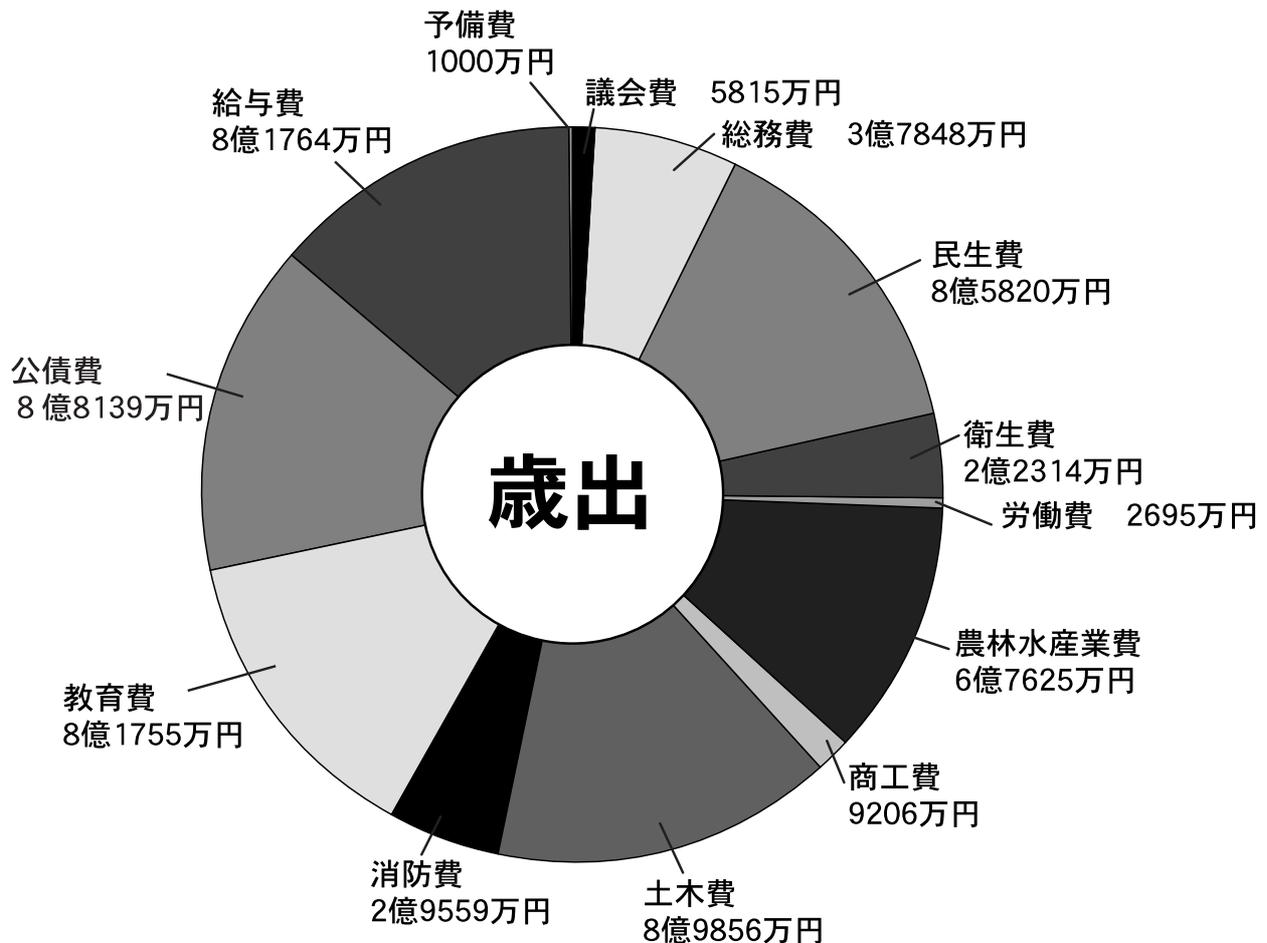
交付金	利子割交付金	120万円
	配当割交付金	50万円
	株式等譲渡所得割交付金	10万円
	地方消費税交付金	9000万円
	自動車取得税交付金	2100万円
	地方特例交付金	120万円
	交通安全対策特別交付金	100万円
	合計	1億1500万円

## 特別会計総額 27億2820万円

会計名	予算額	対前年度比	
国民健康保険事業	7億6000万円	13.1%	
後期高齢者医療	7670万円	-7.0%	
介護保険事業	保険事業勘定	4億4720万円	-6.0%
	介護サービス事業勘定	3140万円	6.8%
簡易水道	12億2900万円	13.3%	
公共下水道事業	1億8390万円	2.5%	

# 平成27年度

一般会計 60億3400万円



## 注目すべき継続事業

- ・ふるさと納税の特典等（ふるさと寄附金事業）4406万円
- ・まちなか交流館の運営など（複合型地域福祉活動拠点運営事業）1201万円
- ・こども園の運営（保育料は国の基準の3分の2程度、今年から2割還元）6438万円
- ・地域おこし協力隊（農業3人、林業3人、観光振興3人、食のまちおこし1人）4011万円
- ・子育て支援住宅を上厚真きらりタウンに5戸建設（子育て支援住宅建設事業）1億2821万円
- ・厚真中学校の天井を大規模改修、太陽光利用設備などを設置 1億5871万円
- ・埋蔵文化財の発掘（厚幌ダム関連）1億7344万円
- ・浄水場建設など（統合簡易水道事業 p 2 に関連記事掲載）10億2191万円

## 臨海ゾーン環境整備事業 205万円

まちづくり推進課事業推進グループ

浜厚真野原公園及び浜厚真海浜公園周辺の環境整備（景観美化）を行います。

主な整備内容は、原野化している町有地等にひまわりとハマナスの植栽を行います。さらに、地元小学生やデザイン関連学科の大学生、JR北海道の協力を得てJR浜厚真駅舎の塗り替えを行います。

### 主な経費

花畑造成工事	169万円
JR浜厚真駅塗り替え	34万円
その他経費（浜厚真海岸清掃等）	1万円

### 財源

市町村振興協会交付金	100万円
町	105万円

### （主な質疑）

問 JR駅舎の塗り替えで、JRが整備する範囲を超えた部分の費用は、自治体が負担するのか。

### まちづくり推進課参事

駅舎のサビを取り、下地の塗装まではJRで、色塗りは町の負担となる。



## 公共施設公衆無線LAN整備事業 235万円

まちづくり推進課企画調整グループ

公共施設での無線LANを整備し、来庁者の利便性を確保します。役場本庁舎・別館、総合福祉センター及びケアセンターゆくり、青少年センターに、公衆無線LANを整備し、パスワードフリー及び無料で利用できるようにします。

### 主な経費

工事費（4施設合計）	235万円
------------	-------

### 財源

町	全額
---	----

### （主な質疑）

問 スポーツセンターの公衆無線LAN整備の予定は。

まちづくり推進課長 スポーツ施設は、次年度以降検討する。

## スズメバチの巣駆除費用助成事業 35万円

町民福祉課町民生活グループ

スズメバチの駆除を行うために、防護服の貸し出しを行っていますが、巣を駆除する高齢者等に対し、費用の一部を助成をします。

助成対象は、65歳以上の独居高齢者又は65歳以上の高齢者のみの世帯等で、駆除した巣1個について駆除料金の1/2以内で上限5,000円を助成します。

### 主な経費

助成金	15万円
防護服購入費	18万円
その他経費（消耗品など）	1万円

### 財源

町	全額
---	----

### （主な質疑）

問 助成対象者が公平性に欠けているのでは。65歳以上に限らず、母子家庭等にも対象者を広げては。

町長 母子家庭については、そこまで思いが至っていなかった。再度検討し、町民向けの広報をする。

## 総合福祉センター整備事業 980万円

町民福祉課福祉グループ

総合福祉センターの玄関前タイルや、玄関ロビーのフロアカーペットの張替を行います。

### 主な経費

工事費	980万円
-----	-------

### 財源

町	全額
---	----

### （主な質疑）

問 滑らないタイプのタイルを張るべきだと思うが、いかがか。また、スロープを歩く人も居るので、そこにもタイルを張るべきでは。

町民福祉課長 滑りにくい材質のソフトタイルを使用する。スロープは、現在舗装となっているので、予定していない。



## 町民スケートリンク整備事業

2,246万円

生涯学習課社会教育グループ

町民スケートリンクに整氷車を導入し、短時間で効率良くリンクの整備が実施できるようにします。

なお、平成27年度に実施設計等を行い、整氷車の納入は平成28年度の予定です。

### 主な経費

整氷車格納庫建設工事設計	150万円
整氷車の購入	2096万円

### 財源

町

### （主な質疑）

問 整氷車を購入するのであれば、リンク自体の表面も老朽化しているので、その整備も一緒に考えてはどうか。

副町長 構造上は、路盤がはいっているの重量的には問題ないが、経年劣化の部分もある。導入に合わせて、オーバーレイや全面改修の時期を検討していきたい。

## 認定こども園整備事業 児童会館整備事業

4,752万円  
1,165万円

町民福祉課子育て支援グループ

厚南地区認定こども園と児童会館の整備に係る約4,628㎡の土地造成工事を行います。

駐車場舗装整備や周辺フェンスの設置。また、こども園では遊具や築山、砂場、菜園の築造、児童会館では植栽整備を行います。

### 主な経費

(認定こども園整備)	開発行為認可手数料	13万円
	工事費 (4,628㎡)	4739万円
(児童会館整備)	工事費 (1,800㎡)	1165万円

### 財源

(認定こども園整備)	地方債	4730万円
	町	22万円
(児童会館整備)	地方債	1160万円
	町	5万円

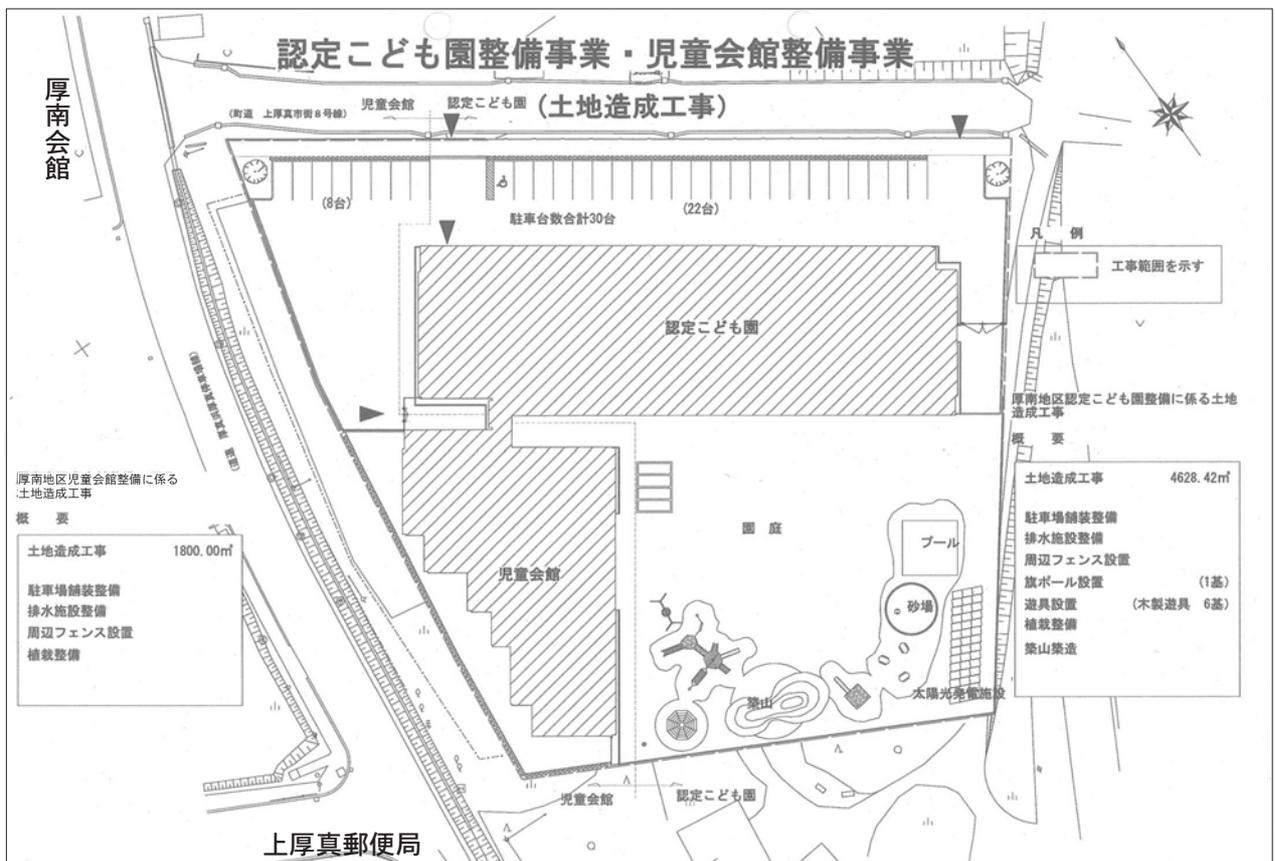
### (主な質疑)

**問** 駐車場の位置が、民家側に台数が多く、住環境に影響が出るのでは。道側に移動できないか。

**町民福祉課長** より多くの駐車スペースを確保するためである。町道からの出入りによってスムーズな車の流れになると考えている。また、建物の配置も園児の安全確保を前提に進めている。

**問** ツリーハウスをつかってほしいという話があったが。

**町民福祉課主幹** 将来的に近くに公園を造成する計画があり、樹木をたくさん取り入れた冒険の森の構想もあり、そちらと連動する園庭を考えている。



## 上厚真中央公園整備事業

250万円

建設課土木グループ

上厚真パークゴルフ場の隣地に多世代の地域住民が供する公園の整備を計画します。

(位置はP15に掲載)

### 主な経費

基本設計委託	250万円
--------	-------

### 財源

町	全額
---	----

### (主な質疑)

**問** どのような公園の構想があるか。こども園のすぐ隣に土地を求めるべきでは。また、アクセス道路の考えは。

**副町長** 上厚真パークゴルフ場を含めた、冒険の森構想などの全体計画を立てる。現在先行取得している土地で足りるのかも含め検討し、整備を進める。

## 農地中間管理事業

242万円

産業経済課農政グループ

農地中間管理機構に預けた農業者に対し、農地集積の協力として、機構集積協力を交付します。町は、農地集積の窓口として、(公財)北海道農業公社から事務委託を受け、円滑な事業の運営を行います。

### 主な経費

機構集積協力金補助金	210万円
その他経費(事務経費)	32万円

### 財源

道	210万円
業務委託金	32万円

### (主な質疑)

**問** 北海道農業公社と町の委託の範囲は。また、農業委員会に一部事務委任する内容は。  
**産業経済課長** 事務契約は、北海道農業公社が行うが、農地流動化を行うには、農業委員会の保有する農家台帳を活用しながら、農業委員会と農政グループで一体的に事務を進める。

## 分譲宅地管理費

429万円

まちづくり推進課事業推進グループ

町内分譲地「フォーラムビレッジ」、「きらりタウン」の維持・管理等の業務を一括して行います。

### 主な経費

宅地の維持管理等	157万円
埋蔵文化財調査	200万円
分譲地航空写真撮影委託	25万円
移住者への苗木プレゼント	46万円

### 財源

町	全額
---	----

### (主な質疑)

**問** 宅地維持管理は、きらりタウンの民有地についても管理するのか。  
**まちづくり推進課参事** 予算計上しているのは、町の保有地のみである。実施は同時を考えているが、民有地は、地主の負担である。

## 人・農地プラン推進事業

70万円

産業経済課農政グループ

人・農地プランの適正運用のため、地域で設立している農地利活用改善団体を支援し、継続的な話し合いや見直しを促進し、地域の担い手へ農地の集積・集約化を図ります。これまで経営所得安定対策等推進事業の中で実施していた事業を分離し、強化します。

### 主な経費

農地利活用改善団体謝金	24万円
農業経営の法人化支援事業補助金	40万円
その他経費(消耗品・職員旅費等)	6万円

### 財源

道	全額
---	----

## 厚真葬苑整備事業

338万円

町民福祉課町民生活グループ

厚真葬苑は、平成25年度に大規模改修を行っていますが、その後経年劣化している電動キャリア台車の改修や、燃焼室の特殊耐火煉瓦を交換します。

### 主な経費

工事費	338万円
-----	-------

### 財源

道	300万円
町	38万円

## 幌内地区環境整備事業

1,150万円

建設課土木グループ

厚幌ダム建設事業に併わせて、両ダム周辺の環境整備を行い、町内外からの集客を図り、幌内地区の活性化を推進します。町民の憩いの場や自治会活動の拠点として環境緑地を整備します。

### 主な経費

基本設計委託	150万円
環境整備工事(トイレ、水飲み台、あずまや)	1000万円

### 財源

地方債	1000万円
町	150万円

### (主な質疑)

**問** 環境整備を行う部分が幌内神社の境内のほうになると、憲法89条の問題が発生しないか。  
**副町長** 幌内自治会が所有する土地の中に神社があり、社や鳥居がある。今回は、自治会用地の一部を借り、はっきりと入口も分けて整備するので、憲法上抵触することはない。

## 住生活基本計画策定事業

324万円

### 建設課建築住宅グループ

既存の厚真町住宅マスタープラン(H17~H27)を厚真町住生活基本計画として再策定するための費用です。

#### 主な経費

基本計画策定委託料 324万円

#### 財源

国道 162万円

町 162万円

#### (主な質疑)

問 総合計画策定と連動した町にふさわしい計画を、ということだが、具体的内容は。

建設課参事 高齢者向けの住宅施策や、子育て支援など、これまでの住宅マスタープランに謳っている内容をさらに発展させていく。

## 空き家等対策推進事業

58万円

### 建設課建築住宅グループ

空き家対策等の推進に関する特別措置法に基づく対策の推進を行います。

空き家等対策計画の策定や協議会の設置、空き家等に関するデータベースの作成等を行います。空き家等を含む建物所有者への適切な管理のため、情報提供や、空き家等や空き家等跡地の利活用と支援策について検討します。

#### 主な経費

公務協力者報償費・旅費 57万円

消耗品 1万円

#### 財源

町 全額

#### (主な質疑)

問 町内にも特定空き家と推定されるものがあると思うが、これらの固定資産税の優遇措置を考えているか。

建設課参事 国の流れは、危険状態の空き家については減免を外すということになってきているので、固定資産税の除却等の支援策も検討していきたい。

## ICT教育推進事業

131万円

### 生涯学習課学校教育グループ

教育分野におけるICTの積極的な活用により、子ども達の主体的な学びを推進し、一人ひとりの個性や能力を発揮することが求められています。本町でも、ICT教育推進の調査研究を進めるため、書画カメラや電子黒板機能付きプロジェクター等機器の整備や研修会を開催します。

#### 主な経費

講師等謝礼 10万円

備品購入 89万円

修繕料 30万円

その他経費(旅費等) 1万円

#### 財源

町 全額

#### (主な質疑)

問 本町独自のICT教育推進の展開は。

生涯学習課主幹 本町は、教師が主体的にICTを使いこなし、教育活動に役立てるために、研修会を開催する予定である。今回、機器一式を購入し、どのように子どもたちに効果的な教育ができるのか研究してもらう。

## 厚真町いじめ問題対策連絡協議会

11万円

### 生涯学習課学校教育グループ

国及び道のいじめ防止基本方針を受け、厚真町いじめ防止基本方針に基づく「厚真町いじめ問題対策連絡協議会」を設置し、関係機関等と連携を図り、いじめ防止等の取り組みを効果的に推進します。

協議会は年2回の開催を予定しており、委員は町内各学校長やPTA役員、青少年健全育成委員や民生児童委員、保護士の計11人で構成されます。

#### 主な経費

委員報償費 11万円

#### 財源

町 全額

#### (主な質疑)

問 本年度目指すことは何か。会議回数も多くはないので、踏み込んだ形にはならないのでは。

生涯学習課長 今年度の動きは、4月から施行されるいじめ防止基本方針の再確認といじめの実態の把握を行う。いじめのアンケート調査の実施も検討しているので、その準備段階としている。

## 屋外体育施設整備事業

750万円

生涯学習課学校教育グループ

老朽化や補修箇所がある厚真中央小学校、上厚真小学校遊具の改修を行います。

厚真中央小学校

既存遊具撤去、遊具更新、滑り台補修

上厚真小学校

鉄棒バー更新、遊具更新、補修

### 主な経費

工事費 750万円

### 財源

町 全額



### (主な質疑)

問 小学校用のコンビネーション遊

具も開発されているので、学校にも導入しては。生涯学習課主幹 コンビネーション遊具は、各公園に設置されているので、学校遊具は既存遊具の更新とする。

## 学校給食センター整備事業

260万円

生涯学習課学校教育グループ

学校給食センターの衛生管理向上を目的に、搬入口2カ所に風除室を設け、納入時の風雨、昆虫類の侵入を防ぐ工事を実施します。また、現在作業台直上に設置されている殺虫灯を壁面へ移設し、異物の落下を防ぎます。

### 主な経費

工事費 260万円

### 財源

町 全額

### (主な質疑)

問 厨房機器は、長期的な計画で更新しているのか。

学校給食センター長 計画的に更新しており、今年度も計画に基づいた更新を行う。

## あつま土曜楽校開催事業

35万円

生涯学習課社会教育グループ

子どもたちが、より豊かで有意義な土曜日を過ごせるよう、体系的・継続的なプログラムを実施します。これまで放課後子ども教室を実施してきた通年型の「食育」「職育」プログラムや、トップアスリートによる体力向上プログラムを開催します。

### 主な経費

賃金（土曜教育推進員・バス運転手） 17万円

講師謝礼 6万円

その他経費（消耗品、賄材料費等） 11万円

### 財源

道 25万円

町 9万円

### (主な質疑)

問 トップアスリートによる体力向上プログラムとは。

生涯学習課主査 苫小牧市内で実業団選手を輩出している団体の指導者を招へいし、走り方教室を開催したい。

## 青少年センター整備事業

830万円

生涯学習課社会教育グループ

蔵書数の増加や親子連れの利用者の増加に伴い、青少年センター1階の円形展示ホールを改修し、絵本・読み聞かせコーナーを新たに設置します。

現在の絵本・読み聞かせコーナーは学習スペースとして活用します。

### 主な経費

円形ホール改修工事

（壁・床・天井・照明器具改修） 230万円

書架・テーブル購入 600万円

### 財源

町 全額

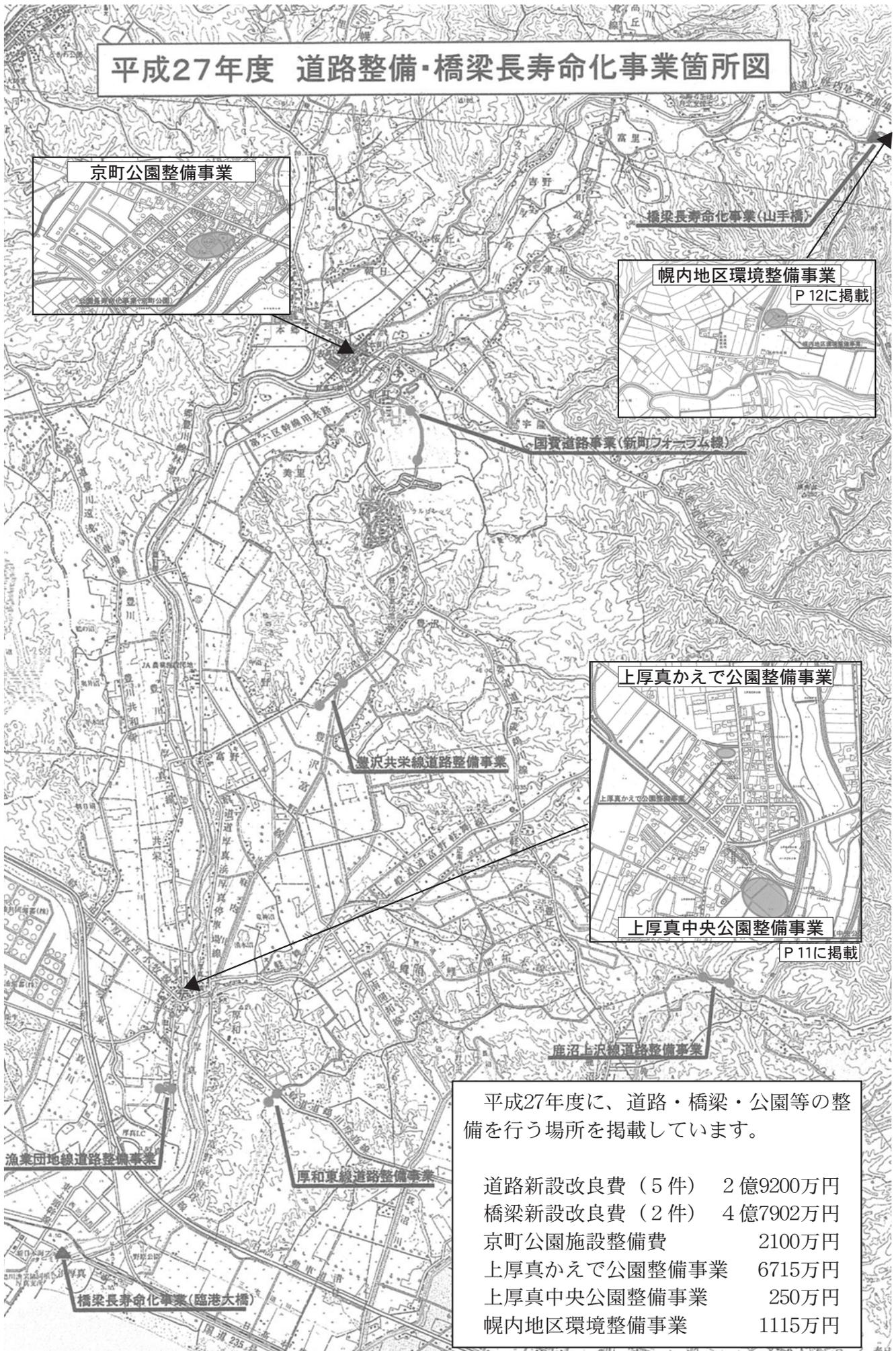


### (主な質疑)

問 改修にあたって、デザイナーを入れては。

生涯学習課参事 図書整備専門業者のアドバイスをもらい実施するが、さらに、予算の範囲内で専門の見地のある方の意見を聞きながら実施したい。

# 平成27年度 道路整備・橋梁長寿命化事業箇所図



平成27年度に、道路・橋梁・公園等の整備を行う場所を掲載しています。

道路新設改良費 (5件)	2億9200万円
橋梁新設改良費 (2件)	4億7902万円
京町公園施設整備費	2100万円
上厚真かえで公園整備事業	6715万円
上厚真中央公園整備事業	250万円
幌内地区環境整備事業	1115万円

# 町行政評価外部 評価委員会条例 などを協議

## 全員協議会レポート

2月5日に平成27年第1回全員協議会を開催し、行政評価外部評価委員会条例や福祉バス運行条例、東胆振広域圏定住自立圏形成協定のほか、権限移譲により制定する条例、子ども・子育て支援新制度に伴い制定する条例を協議しました。

### 町行政評価 外部評価委員会条例

平成27年度から事務事業の外部評価を本格実施するにあたり、外部評価委員会を設置する条例の概要を協議しました。

外部評価委員会による行政評価を行うことによつて、行政の客観性、透明性を確保することを目的としています。

#### (主な質疑)

問 外部評価委員の権限、報酬、守秘義務は。

まちづくり推進課長

町長が提示した事業について評価し、その結果を町長に報告する。町はその結果を尊重し、次年度以降の事業に反映していく。

報酬は日額8000円で、町の附属機関なので、当然守秘義務は生じる。

問 町長の諮問機関となるのでは町民にとってメリットがあるか。

まちづくり推進課長

委員会の意見を次年度以降の事業に反映するのが目的であり、委員会の結果で事業の拡大や廃止をするということではない。

町民の皆さんに広く政策形成に参加してもらう一つの手段であり、住民目線で町の事業が実態にふさわしいかどうかという判断をしていた。

問 結論から言うと事業廃止のための意見集約と

なり、委員の責任は重たいのでは。個々の事業の評価を町民にしてもらおうというのであれば、町民が参加しやすい評価システムを考えるべきでは。

まちづくり推進課長

町民参画の方法は色々あるので、まちづくり討論会などのワークショップ、パブリックコメント制度を設けるといふこともある。外部評価委員会もそ

の一つの手法であり、事業の透明性や客観性を確保していきたい。

### 東胆振広域圏定住 自立圏形成協定の 概要

苦小牧市・厚真町・安平町・むかわ町・白老町の1市4町で形成する東胆振広域圏について、昨

年9月に苦小牧市が定住自立圏を形成するための中心市宣言を行いました。今後連携する内容について各議会の議決を経て苦小牧市とそれぞれの町が一対一で協定を締結しますが、今回は、現在調整中である協定項目の内容について協議しました。

### 定住自立圏形成協定 協定項目一覧

#### ◆生活機能の強化に係る政策分野

- ・医療情報のネットワーク化
- ・広域救急医療体制の充実及び病診連携
- ・認知症高齢者見守りSOSネットワーク
- ・生涯学習機会の充実
- ・図書館相互利用の促進
- ・地域ブランドの推進
- ・鳥獣害防止事業の推進
- ・防災体制の充実
- ・循環型社会の構築

#### ◆結びつきやネットワークの強化

- ・地域公共交通の維持確保と利用促進
- ・圏域内における交通ネットワークの形成
- ・地産地消の拡大
- ・移住・交流促進
- ・広域連携による情報提供

#### ◆圏域マネジメント能力の強化

- ・職員の合同研修等の実施

## 町循環福祉バス 運行条例改正

平成22年度から実証試験として運行している循環福祉バスについて、平成26年度末で実証試験が終了します。今後更なる利用者の拡大を実施予定であることから、町循環福祉バス運行条例の全部改正について協議しました。

### (主な質疑)

**問** 使用対象者で、市街地の町民は除くとなつているが、市街地にも交通手段のない高齢者は多い。市街地からこぶしの湯に行くことも福祉バスの趣旨に沿っているので利用可能にしては。

**まちづくり推進課長**  
循環福祉バスの基本は、地域に住む方が市街地へ行き、また地域へ戻るということである。こぶしの湯は、バス事業者がこぶしの湯線を運行して

るので、それを利用していただく。

### 権限移譲等により 制定される条例

第3次地方分権一括法により、町で定めることとなつた条例の概要を協議しました。

・厚真町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

・厚真町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例

・厚真町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

・厚真町指定介護予防支援助事業者の指定に關し必要な事項並びに指定介護予防支援助等の事業の人員及び運営並びに指定介護

予防支援助等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例

・厚真町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例

### ふるさと応援 基金条例

3月5日に平成27年第2回全員協議会を開催し、厚真町ふるさと応援基金条例を協議しました。

現在、ふるさと納税として寄附されるお金は、寄附者の希望によりエン

ゼル基金、緑化事業基金、地域振興基金、文化振興基金へそれぞれ振り分けられていたものを、新たにふるさと応援基金を設置して一元的に管理しようとするものです。

ふるさと応援基金条例  
(案) (抜粋)

#### (設置)

第1条 厚真町を応援する方々から寄せられたふるさと納税による寄附金を原資とし、元気で魅力あるまちづくりを推進するため、厚真町ふるさと応援基金を設置する。  
(積立て)

第2条 基金として積み立てる額は、ふるさと応援基金として寄附された金額とする。  
(事業の区分)

第3条 第1条に規定する目的を達成するための事業は、次の各号に掲げる。

(1) 次世代を担う子育て支援に関する事業  
(2) 豊かな自然を守るための事業  
(3) 美しい農村景観づくりと環境保全に関する事業

(4) 人材を育む教育環境づくりに関する事業  
(5) 各種の地域振興に関する事業  
(6) その他目的達成のために町長が必要と認める事業

#### 以下

第4条 (管理)

第5条 (運用益金の処理)

第6条 (繰替運用)

第7条 (基金の処分)

第8条 (委任)

以上。

### 厚幌ダム

#### 建設費の増額変更

3月30日に平成27年第3回全員協議会を開催し、厚幌ダム建設事業の再評価を協議しました。

#### 事業評価の目的

公共事業の効率性及びその実施経過の透明性の一層の向上を図ることを目的とする。

#### 変更理由・内容

- ① 完成予定工期の変更 (H28年→H29年)
- ② 総事業費の変更 (物価上昇、消費税の変更など)
- ③ 水道取水量の減量 (1630m<sup>3</sup>→1353m<sup>3</sup>)

### (主な質疑)

**問** 事業費の比較表に、「変更後の事業費については、事業評価前ですのて現時点での予定額で記載しています」とあるが、これはまだ評価前だからまだ変更があるということと書いてあるのか。

**建設課長** 実際4月からこの再評価の検討が始まるが、ただいまのは道の案であり、その評価の身によつては変わる恐れもあるということである。

総務文教常任委員会は、1月22日に、子ども子育て支援事業計画（案）、介護保険事業計画（案）、地域公共交通総合連携計画、行政評価制度、権限移譲に伴い制定する条例や子ども・子育て支援新制度に伴い制定する条例の調査をしました。条例は全員協議会のページに記載しています。  
委員長 今村昭一 副委員長 了安正秋 委員 井上次男、海沼裕作、三國和江

# 子ども・子育て

## 支援事業計画案を調査

**基本理念** 子どもの最善の利益が実現され、すべての子どもが健やかに育ち、子育ての関わりを通して家庭・地域が子どもの成長と喜びを実感できるまち

### 事業計画

#### 1 子どもの育つ力を伸ばす

- ①子どもが健やかに成長できる教育環境づくり
  - I 幼児期の教育・保育の提供体制の整備
  - II 地域子ども・子育て支援事業の提供体制
  - III 児童の健全育成
  - IV 子育て支援ネットワークづくり
- ②子どもと母親の健康づくり
  - I 安心して子育てができる環境づくり
  - II 妊娠、出産に際する情報提供
  - III 食育の推進
  - IV 一人ひとりの特性に配慮した支援

#### 2 子育て家庭の育てる力を伸ばす

- ①仕事と子育てを両立できる環境づくり
  - I 仕事と子育ての両立のための基盤整備
  - II 子育て家庭への経済的支援
- ②子育てしやすい自然環境の保全と良好な住環境づくり
  - I 良好な居住環境の確保
  - II 豊かな自然に触れ郷土への愛着と誇りを育む

#### 3 地域のみんなで子育てを支える

- ①子育てを支援する地域づくり
  - I つながりと絆を育む世代間交流
  - II 自然や文化、歴史などを通じた地域体験活動
  - III 地域での交流を通じて子育て支援の拡充
- ②安心で安全な生活環境づくり
  - I 交通安全、防犯等子どもを守る活動
  - II 社会的支援の必要な児童への取組

#### （主な質疑）

問 子ども・子育て支援事業計画の今後の予定は、町民福祉課主幹 素案を次世代育成推進協議会で審議後に公表する。

問 計画案には、これまで行っていることが継続して入っていると思うが、それらを基本として新たな計画を策定し、推進していくのか。

## 町の行政評価新制度を調査

#### （主な質疑）

問 委員に女性の登用は、また、いつも同じ顔ぶれではなく色々な業種の方を入れては。

まちづくり推進課長

現在試行の段階で、5人の委員のうち2人が女性であり、職種も様々である。アドバイザーとして小さな町の過疎対策に詳しい旭川大学の准教授にも入ってもらっている。

行政評価は、行政運営にあたって、最小の経費で最大の効果を発揮したり、事業の透明性と行政の説明責任を果たすことを目的に行われます。本町は、これまで庁舎内に設置した委員会です。実施していますが、より住民目線に立った評価を行うため、次年度から外部委員による評価制度の本格実施の準備を進めていきます。

副町長 子ども・子育て支援法に基づき、当然この計画を定めなければならない。

本町も、子ども・子育てをまちづくりの一つの柱として推進していくことから、色々な子育て支援を計画して、さらに発展させていきたい。

# 委員会レポート

総務文教常任委員会



生活支援施設ともいき荘

## 介護保険事業計画案を調査

平成27年度から平成29年度までの第6期厚真町高齢者福祉計画・介護保険事業計画(案)の調査をしました。

平成27年度から大幅に改正となる介護保険制度の概要や、それに伴う町の施設整備、計画期間中の介護保険料見込み額を調査しました。

(主な質疑)

**問** 小規模多機能型介護事業所の整備は、「ともいき」のことだと思いが、内容は。

**町民福祉課長** 本郷デイサービスセンターにショートステイの宿泊施設を設けるため改築する。

**問** 高齢者共同福祉住宅の整備予定は。

**副町長** 具体的な場所や予算は未定だが、町内に10戸(室)程度必要と考えている。

**問** 介護保険の特別会計に一般会計から予算を繰り出して、保険料を抑えることはできないか。

**町民福祉課主幹** 原則、一般会計からの繰り出しはできない。

## 町循環福祉バス(めぐるくん) 運行条例の主な変更点

項目	変更後	変更前
目的	厚真町の地域住民の交通の確保を図り、福祉の増進に資するため	一般乗合旅客自動車が行われていない地域に住む65歳以上の高齢者若しくは身体障害者手帳、精神障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳若しくは療育手帳の交付を受けている者又は他に交通手段がない者に対して交通の利便性を確保するため
利用対象者	市街地(京町、表町、本町及び錦町)を除く各路線の経由地に住所を有する町民	—

運行路線については上厚真線が追加され、一部路線名の変更となる路線があります。  
 使用料は、変更ありません。  
 (身体障害者等 1乗車 100円 一般町民(路線空白地区) 1乗車 200円)

## デマンドバス(めぐるくん)の今後を調査 地域公共交通総合連携計画

(主な質疑)

**問** 平成22年度からのデマンドバス(めぐるくん)実証運行で、当初計画と実績は。

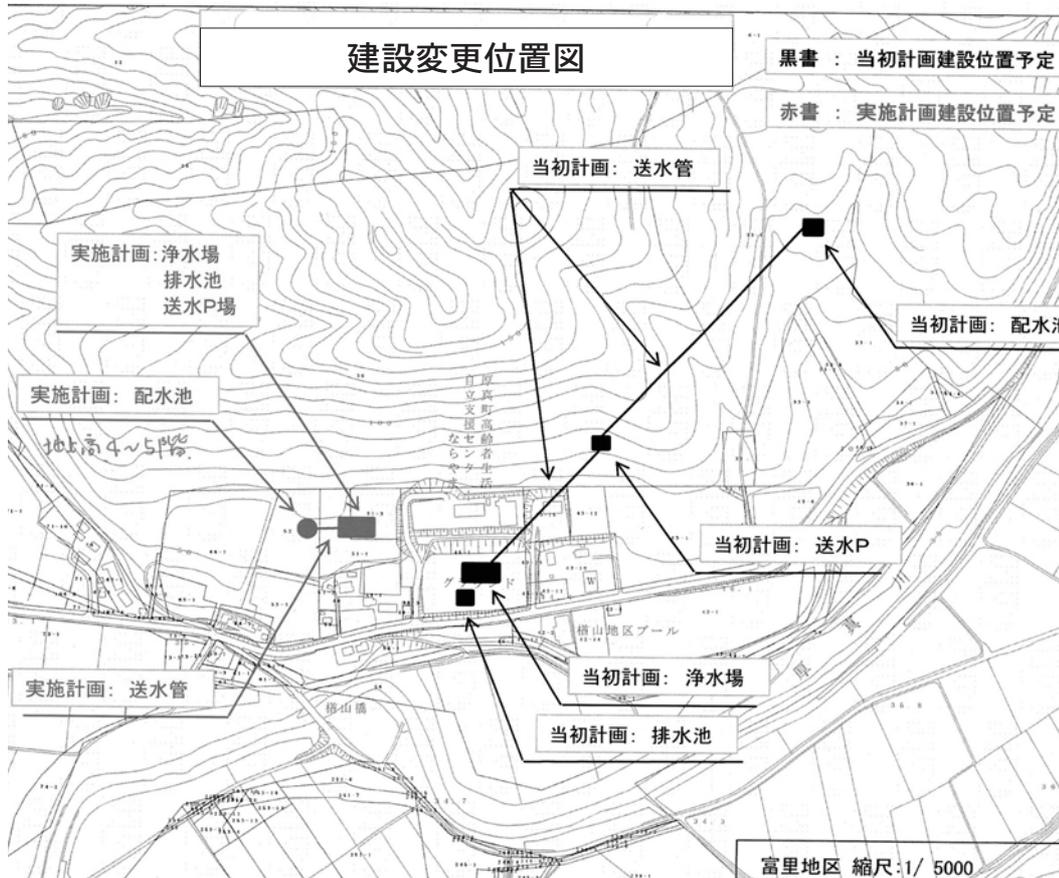
**まちづくり推進課長** 全体として述べ5000人を目標としていた。

平成25年度で約4700人なので、ほぼ目標に達している。

**問** 今後、高齢により運転免許を返納する方も増えると思うが、それに対応して、町内移動が自由にできるような体制となるか。また、福祉バスをもう1台増やし、毎日運行には。

**まちづくり推進課長** 毎日運行もそうだが、町外路線にうまく繋がるような運行の仕方も考えて行かなければならない。十分検討し、バージョンアップを図って行きたい。

産業建設常任委員会は、1月19日に、統合簡易水道事業の今後の予定、厚真町の空き家等の状況と対策、起業化支援事業の実施状況と効果の事務調査を行いました。  
委員長 木戸嘉則 副委員長 吉岡茂樹 委員 大捕孝吉、下司義之、木本清登



# 事業費が当初計画から18億4千万円増に！ 統合簡易水道事業の今後を調査

## <事業概要>

事業期間 平成18年度～平成29年度（12年間）

	実施計画	平成24年度再評価	当初計画
総事業費	5,954,932,000円	4,301,699,000円	4,117,233,000円
計画給水人口	—	4,250人	4,850人
計画1日最大給水量	—	2,680 m <sup>3</sup> /日	3,140 m <sup>3</sup> /日

※網掛けの数値が最新です

町の水道事業は、効率的な事業運営及び今後水  
洗化率の向上や業務用の  
増加に伴う水量増が見込  
まれること、また、油田  
跡の影響が懸念される軽  
舞川表流水の代替水源も  
求めるため、町内に2つ  
ある簡易水道事業を1つ  
に統合し、厚幌ダムから  
原水供給を行うことが最  
良であると考え、平成18  
年度から統合簡易水道事  
業の整備が進められ、平  
成30年度の完成を目指し  
ていますが、建設計画の  
見直し、消費税の増税、  
建設資材の高騰等により  
事業費が大幅に増加する  
事が見込まれます。

### （主な質疑）

問 建設場所が移った理  
由は。

建設課主幹 当初、一番  
平らで使いやすいという  
ことで、グラウンドを予  
定したが、現在災害避難  
場所やヘリポートとなっ  
ているので、実施計画の  
場所である旧テニスコ  
ートに移動するのが最良と

考えた。

問 以前、高丘と幌内ま  
で配水すると言っていた  
が、どのあたりまで配水  
するのか。

建設課主幹 幌内は、民  
家のある部分全域である。  
高丘は今の整備計画には  
載っていない。要望が来  
ているので、この計画が  
終わった後に再度計画を  
立て、配水を考えたい。

問 富里からの原水と上  
厚真の湧水の使用につい  
てどんな計画があるか。  
建設課主幹 富里で取水  
した水を浄水して、上厚  
真の浄水場まで持って行  
き、そこで湧水と同じ配  
水池に入れて軽舞・豊丘・  
浜厚真等へ配水する計画  
になっている。

# 委員会レポート

産業建設常任委員会

## 厚真町における空き家等の件数

地区	件数	用途区分		地区	件数	用途区分	
		住宅	非住宅			住宅	非住宅
幌内	19	7	12	上野	8	2	6
高丘	18	4	14	共栄	2	1	1
富里	16	4	12	共和	2	1	1
東和	10	7	3	厚和	3	1	2
本郷	6	3	3	美里	2	1	1
朝日	3	1	2	新町	4	1	3
桜丘	4	1	3	浜厚真	2	1	1
幌里	9	2	7	鹿沼	1	0	1
豊沢	10	3	7	上厚真	5	2	3
合計					124	42	82

上記は平成26年に各自治会から報告のあった「空き家・廃屋調査」に基づき調査したもの

## 空き家の状況と対策を調査

以前から議会でも一般質問等で、町内の空き家対策についての対応や条例の制定が話題となっていました。

今回、昨年11月に制定された「空き家等対策の推進に関する特別措置法」の制定を受けて、現在の町内の空き家等の状況や今後の対策について調査しました。

### (主な質疑)

問 この法律を見ていると、調査をして勧告をするという内容であ

るが、どういう場合なら、自治体で完全に解体処理して整理できるか。

建設課参事 国から指針があると思うが、一陣の風で飛ぶとか道路を埋めてしまうような状況で、所有者を指定する時間もないということであれば、行政代執行という方法に進んでいくかと思う。

## 町内で続々起業

### 起業化支援事業の状況を調査

町内で新たに起業する方を支援するため、開業時における費用、又は開業後3年間のランニングコストに対し補助を行う厚真町起業化支援事業の

実施状況と効果について調査しました。



リベアナスノ



スナック SAKURA



町の古民家を活用したぱん屋



美容室 Oeuf [うふ]

### (主な質疑)

問 申請に対する審査基準は。また補助率は。

産業経済課参事 業種の必要性、競争力を見る優位性、スケジュール等の実効性、課題認識がされているかという成長性、他の分野への波及効果という審査基準がある。

補助率は補助対象経費の2分の1以内で限度額は、200万円(空き家活用の場合は250万円)である。

問 事業として成り立つかという点で、今後の継続的な経営指導等についての考えは。

副町長 現在町ではそのような制度はない。起業する人を支援する目的だが、フォローしていくという視点も大事だと思いたい。今後検討していきたい。



了安正秋 議員

一般質問

ここが聞きたい

健康福祉

認知症対策は

答 初期集中支援チームの導入に向け準備している

問 国は、団塊の世代が75歳以上となる2025年には認知症の人が約700万人に達するとの推計を出した。65歳以上の高齢者の5人に1人がなると考えられる。介護費は医療や年金に係る費用に比べてもその増加率が際立って高くなっており、認知症について今まで以上のスピード感を持って

対応するべきであると思

町長 国は認知症の支援国家戦略として新オレンジプランを策定した。本町では看護師や保健師を中心とした専門職に對して専門的な研修を受講させるなど、初期集中支援チームの導入に向けて準備を進めている。

また、認知症の人とその家族が状態に応じて適切なサービスを受けられるよう、その仕組みを分かりやすく示すための認知症ケアパスも作成する予定である。

※「新オレンジプラン（認知症施策推進総合戦略）」  
認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指す施策

厚真町高齢者保健福祉計画  
厚真町介護保険事業計画

a-6プラン

☆☆ 計画期間 ☆☆☆

平成27年4月～平成30年3月



北海道 厚真町

まちづくり

地域再生計画の取り組みは

答 地方創生の中で挑戦していきたい

問 道は平成16年から平成26年まで、地域再生計画を100近く認定してきた。本町におけるこれからの地域再生計画は。また、今年地域創生元年で、地方自治体が多様な計画を考え行動し

変革を起こしていく年でもある。そこで、オンライン厚真町を掲げる町長の前向きな考えは。

町長 本町のまちづくりにこの地域再生計画、いわゆる地域再生制度を活用した事例はない。

これから地方創生に本格的に取り組むことになり、この地方創生に取り組むプロジェクトの中で、この地方再生計画、あるいは規制緩和を主眼とする特区的な活用が可能なものについては今後ともそういったものに挑戦していきたい。

こんな質問もしました

問 町長マニフェストの達成度は。

町長 取り組み度としてはかなりの達成率だと思

問 いじめを訴えやすい雰囲気作りとは。

教育長 先生と子どもたちの日常的な中での信頼関係が必要。

## 一般質問

ここが聞きたい

健康福祉

# がん教育の強化を図っては

答 健康教育全体の中で検討中

問 国民2人に1人ががんになる時代が来ている。しかし、教育現場では保健体育の授業で生活習慣病の予防や喫煙などの害を学ぶ際に、他の病気と合わせて紹介される程度である。

がんという病気から健康問題や医療の現状、命の大切さなど、小・中・高生のときから総合的に学べる体制づくりをし、学校で先進的な授業の取

り組みをしてはどうか。

教育長 健康と命の大切さを学び、自らの健康を適切に管理し、がんに対する正しい知識とがん患者に対する正しい認識を持つよう教育することを目指して、5年以内に学校の教育のあり方を含めて、健康教育全体の中でがん教育をどのように扱っていくべきか現在検討中である。



木戸嘉則 議員

### 中高生のピロリ感染率は3-13%(平均:8.3%)

	受診率%	感染率	除菌成功率	
F町	中学生	90.6	5/96 5.2%	3/5 60%
	高校生	89.6	8/60 13.3%	5/6 83.3%
W市	高校生	67.2	6/78 7.7%	6/6 100%
C町	中学生	81.6	7/62 11.3%	実施中
K町	中学生	79.1	2/53 3.8%	実施中

北海道大学大学院医学研究科がん予防内科「中学生・高校生のピロリ検査導入まで」より

## 健康福祉

# 中学生へのピロリ菌対策を

答 学校では難しい

問 胃粘膜に炎症を引き起こすピロリ菌は、胃がんの最大の原因とされている。

若年層での感染者は5%程度であり、治療による体への影響が問題ないとされる中学2年生を対象に、ピロリ菌の感染を無料で調べ、除菌することにより将来の発生リスクを減らせるのではないかと思うが。

教育長 予防措置として取り進むことについては、医療的にも効果があると思っている。

ただ、ピロリ菌に関しては、道教委もそういう体制を取っていない。

町で取り組むということであれば、保護者の方も理解するのかもしれないが、今の状況で教育委員会が学校でピロリ菌検査を導入して実施するのは難しい。



井上次男 議員

一般質問

ここが聞きたい

学校教育

教育環境向上方策は

答 学校間・教員・家庭と連携をとり充実したい

問 2014年度全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)にて、小学6年生が全4科目で2年連続全国平均を上回り、中学3年生も3科目で全国平均を上回った。目標を掲げ、教育環境の整備に力を入れたことの成果である。

さらなる教育環境向上の方策は。教育長 全国学力テストの結果は、研修で指導力を磨いた教員が取り組んできた成果ではないかと感じている。今後、学校、家庭、地域社会との連携を図り、取り組みの質を高め、活動をさらに活かせるよう学校間の連携、教職員間

の連携と、家庭も含め取り組みを充実していきたい。



学校教育

教育改革特区教育プロジェクトを立ち上げては

答 夢だけでは特区申請は難しい

問 国は、「子どもたちのための教育再生」の新しい方針を示している。町の学力向上教育方針にリンクさせて「構造改革特区教育プロジェクト」を立ち上げ、国へ提案できないか。認定を受けることで、子どもたちが夢を抱けるように我々が地域と共に斬新な教育方針を創れるチャンスであると考えが。町長 夢がある教育だけでは、構造改革の特区申請は難しい。現在、町の教育行政の施政方針のなかでは、学校制度、文部省の学習指導要領に基づいて、十分に運用しており、子ども達には学力向上のために、知・徳・体の健やかな環境を提供している。

## 一般質問

ここが聞きたい

### 交通安全対策

## 上厚真郵便局周辺の駐車場設置を

### 答 局の取り組みにより解消する見込みである

問 上厚真郵便局周辺は、

きらりタウンの宅地分譲、

認定こども園・児童会館の建設などにより、人口、

交通の増加が見込まれる。

同郵便局は、窓口取り

扱いのできる地区に一方

所しかない金融機関である

が、駐車場スペースが

狭いため、隣接する道々

に面した丁字路周辺で路

上駐車等が見られる。

交通安全の観点からも

対策が必要では。

町長 確かに現状は、上

厚真郵便局周辺に路上駐

車が見受けられる。

郵便局としては、利用

者の駐車場のスペース確

保のため、配達車両の格

納スペースと歩道の間

設置されている鉄柵を撤

去して、一体スペースと

して利用者に解放するこ

う対策を講じるとい

回答であり、これにより、  
当面、郵便局利用者にご  
不便をかけなくなると考  
えている。



吉岡茂樹 議員



上厚真郵便局周辺

### 教育環境整備

## 公設民営塾の設置は

### 答 現状を見極めながら検討したい

問 町は、移住定住の取  
り組みを強化、推進して  
いる。

町外からの移住希望者、  
特に子育て世帯の児童生  
徒の居る家庭にとつて、  
「知・徳・体」バランス  
のとれた教育環境づくり  
も一つの選択肢と考える。  
道教委も宿題を出して  
も解けない恐れがあると  
指摘しており、基礎学習  
知識を補完身につけるた  
め、週2、3回、1回2  
時間程度の公設民営塾の  
設置を検討しては。

教育長 学力には3つの  
要素があり「基礎的、基  
本的な知識、技能の取  
得」。この3つが確かな  
学力生きる力につながる  
要素である。厚真の子供  
は学力調査では、全国平  
均を超えているが、一人  
ひとりの基礎学力をどう  
保障するか、現状を見極  
めながら検討させていた  
だきたい。

## 一般質問

ここが聞きたい

まちづくり

# シルバーエイジの活躍する町を

答 ソーシャルビジネス、コミュニティビジネスで

問 昨年10月時点で町の高齢化率が35・8%となったが、この世代、つまりシルバーエイジが活躍する町こそこれから我々が目指す方向だと思う。

町。シルバーエイジが元気

であれば、若者も自由な時間をつくれると思うが。

町長 シルバーエイジがもっと活躍すべきということは以前からも議論をしてきた。第2の人生を社会に貢献できるということが、生きがい、あるいは健康維持にも絶対必要だと思う。

町としても、60歳あるいは65歳以上の方々の活

躍する場をもっと創っていききたいという思いで、施政方針の中にソーシャルビジネス、コミュニティビジネスという語を用いた。

※ソーシャルビジネス 社会問題の解決を目的として収益事業に取り組み事業（地域を超えた事業）

※コミュニティビジネス 地域が抱える課題を、地域資源を活かしながらビジネス的な手法によって解決しようとする事業（地域に密着した事業）



下司義之 議員



まちなか交流館は2つの機能を兼ね備える

## スポーツ少年団

# 指導者育成の支援充実を

答 具体的に対応していきたい

問 スポーツ少年団活動で大切なのは指導者の育成だと思う。

現在、指導員の資格取得、傷害保険の加入に対しては、スポーツ少年団連絡協議会を通して支援を行っているが、資質の向上という意味では、まだまだ何らかの手を打たなければならぬと思う。教育現場ではいじめ対策等が進んでいるので、

スポーツ少年団の指導者育成にもそういう支援が必要と思うが。

教育長 スポーツ少年団活動は、小学校に入ってから初めての学年を超えて一つの目的に向かって協働して達成する活動であり、それを支える指導者、保護者のかかわりも非常に重要なことだと思っている。

今までも育成のために必要な予算措置をして来ているが、今後どういう資質向上を図るかということは、要望があれば前向きにお聞きし、具体的に対応したいと思う。

こんな質問もしました

問 ふるさと納税の今後の取り組みは。

答 対応する体制をしっかりと整えていきたい。

問 町長施政方針の具体的内容は、（この項目では5点の質問をしています）が、詳細は紙面の都合で省略します。）

# 議会及び議員の活動報告

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	日
土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	曜
				第1回臨時会 厚真町老人クラブ連合会新年交流会		浜厚真救難所出初式	厚真町元議会議員親睦会新年懇談会	町現金出納例月検査	総務文教常任委員会			産業建設常任委員会	第8回あつま国際雪上3本引き大会		厚真町商工会新年会 安平・厚真行政事務組合監査	議会広報特別委員会			交通安全祈願祭 厚真町成人式 交通安全合同新年交流			議会広報特別委員会		あつま新年交礼会	厚真消防出初式及び祝賀会						平成27年1月の議会の動き

28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	日	
土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	曜	
		議会運営委員会 議会広報特別委員会	北海道町村等監査委員協議会第68回定例会	第50回厚真町婦人大会	現金出納例月検査						安平・厚真行政事務組合監査					議会広報特別委員会	東京厚真会総会			名誉町民前町長故藤原正幸氏町葬	inあつま合同開催式	ランタン祭り及びスターフェスタ2015	全員協議会	2015年度連合厚真旗開き		胆振東部市町議会懇談会			平成27年2月の議会の動き

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	日
火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	曜
	第2回臨時会			議会広報特別委員会 土地開発公社理事会 田舎まつり運営実行委員会総会	議会広報特別委員会	東胆振定住自立圏形成協定締結式	町現金出納例月検査 胆振東部消防組定例会 胆振定住自立圏形成協定締結式				振興協議会 安平・厚真行政事務組合定例会	厚真町農業再生協議会通常総会 厚真町農業 振興協議会 安平・厚真行政事務組合定例会	上厚真小学校卒業証書授与式 厚真中央小学 校卒業証書授与式 胆振東部日高西部衛生組 合議会定例会		安平・厚真行政事務組合監査			厚真中学校卒業証書授与式 厚真中学校卒業証書授与式	第1回定例会 議員協議会 議員会総会	予算審査特別委員会	予算審査特別委員会	予算審査特別委員会		予算審査特別委員会 全員協議会	第1回定例会 予算審査特別委員会 全員協議会				厚真高等学校卒業証書授与式	平成27年3月の議会の動き	

元気なあつまの子

# 空手同好会「最強塾」

指導者

幅田 洋司さん



空手同好会「厚真最強塾」は、厚真町とむかわ町穂別で活動しているフルコンタクト（直接打撃制）の道場です。

活動の目的は人によって様々で、健康、ダイエット、大会出場などです。全国大会を目指している人もいます。

2020年の東京オリンピックでは新しい種目として追加されるかどうか話題となっています。

恒例の浜厚真での寒稽古では、氷点下のもと空手着に身を包んで、砂浜に素足で立って海へ向かい、大きな声を上げて突きや蹴りの鍛錬をします。

稽古は、毎週月・木曜日、午後7時から9時まで、スタードーム2階道場で行っています。

興味のある方はご連絡ください。

## 地域話題⑯ スナック SAKURA (さくら)

地域の話題⑯



新鮮な海産物を使ったママ手作りのチャームも魅力

「さくら」この店名を存じの方は多いと思う。

町内京町、徳永ビルの一階にあった居酒屋だ。

昨年10月、この場所がスナック「SAKURA」としてリニューアルオープンした。

リニューアルと言っても経営者も業態も変わったので、全く新しいお店。店内に入ると、いつも明るい香織ママとゲゲの鬼太郎ブランドのお酒が

出迎えてくれる。

カウンターに座り、「この店の売りは何なの。」と問うと、「娘」と返ってきた。

美人ママとかわいい娘さんの二人で切り盛りしている。

地元食材を使ったチャームは、このお店のもう一つの魅力。

席は、カウンター12人。緊急時に使用する奥の小上がり8人。

さくらオリジナルのお酒を飲みながらカラオケを歌い、楽しい時間を過ごすのもいい。

営業時間 19時～24時  
定休日 日曜日  
電話番号 27-2230  
店主 谷口香織さん

